中原　泉
一枚の写真⑥

# Ⅰ　ミシガン大学との姉妹校調印式

本学とミシガン大学の姉妹校締結調印式は，現地時間1984年９月６日午後１時半より，アンナーバーのミシガン大学歯学部内の同窓会寄贈の「アラムナイホール」において，両校約40名が出席して開催された。

まず，クリスチャンセン歯学部長が，「本日は本学が貴校に，より多くの知識と経験を共有することを申し入れる祝典の日です」と，本学に姉妹校の提携を求める宣言を行った。

つづけて彼は，「私は，今年６月に日本歯科大学を訪問する機会を得ました。貴校の資質と献身は，私に強い感銘を与えました。両校には，同じように最終目標への熱意が見られたのです」と提携の経過を報告した。

これをうけて私は，小倉英夫助教授の通訳により，日本歯科大学の五つの特色を披露し，「日本には“太く短くより，細く長く”という諺がありますが，今後の両校の関係は“太く長い”付き合いになることを祈ります」と挨拶した。

このあと，私たちは邦文と英文の姉妹校同意書に署名し，両校の校旗を交換して出席者の拍手を浴びた。式典終了後，教授たちは「今回の調印式は，ミシガン大学歯学部始まって以来のセレモニーであり，歴史的なイヴェントです」と口々に称賛した。

あとで知ったのだが，（**写真上**）後ろ側に立つメンバーは，国際的に著名なミシガン大学を代表する錚々たる顔ぶれであった。彼らを招集し１時間もの間列席させたのは，ひとえにDickの熱意とリーダーシップによるものであった。

私ども一行（私夫妻，小倉英夫夫妻，小林義典助教授）の，ミシガン滞在６日間のスケジュールを記す。

５日18時　デトロイト空港にて，パワーズ教授夫妻，ストーラー助教授夫妻の出迎えをうける。アンナーバーの大学内ホテル「Campus Inn」にて，クリスチャンセン歯学部長夫妻に迎えられる（**写真次頁上**）。

# Ⅱ　大学を挙げて並々ならぬ歓迎

5日20時　パワーズ教授招待の夕食会。
6日8時半　歯学部長夫妻との朝食会。
10時　ドール副歯学部長の案内により，歯科医学研究所等を視察する。
12時半　歯学部長会議室にて昼食会。
13時半　姉妹校締結調印式。
14時半　歯学部の諸施設，大学院施設を視察する。
19時　歯学部長主催の晩餐会。
7日10時　歯学部同窓会総会にて昼食会。同窓生約300名に来賓紹介をうける。
16時　同窓会主催の園遊会（ワイン・チーズ・パーティ）。
19時　アッシュ教授招待の晩餐会。
8日11時　デトロイトでアメリカンフットボールを観戦する。
19時　ドール副歯学部長主催のホームパーティ。
9日9時　クリスチャンセン歯学部長と，姉妹校活動の具体的事項を協議する。
14時　パワーズ教授邸を訪問する。
17時　歯学部長主催のホームパーティ。約50名が出席する。
21時　アスガー教授邸を訪問する。
10日8時　デトロイト空港にドール副歯学部長，パワーズ教授の見送りをうける。

以上のように，温かい配慮と周到なプランのもとに，私たちは，大学を挙げて並々ならぬ歓迎をうけた。いわゆる西洋人の慣習からは，ありえない歓待ぶりであった。

因みに，スイス生まれの若いC.ストーラー助教授夫妻は，一所懸命に私たち夫妻の案内役をつとめた。20年後，彼はメリーランド大学歯学部長となる。世界で最初の歯科医学校ボルチモア歯科医学校を前身とする歯学部長として，2006年に私どもの創立100周年記念式典に列席した。それから間もなく，どちらから言いだすでもなく両校は姉妹校として提携する。